

学校の夏休みを活用して 2つの教員研修を実施しました!!

「森の探検隊」教員研修

7月24日(火)、箕面国有林「エキスポの森」内の「体験学習の森」において、箕面森林ふれあい推進センターが開発した「森の探検隊」プログラムの活用と充実を図ることを目的に、教育研究会理科部会と共催で第4回目となる平成30年度「森の探検隊」教員研修を開催しました。

当日は酷暑の中、箕面市内の小学校教員9名、探検隊とネイチャーゲームのスタッフとして「大阪森林インストラクター会」から2名、間伐体験のスタッフとして「きんきちゅうごく森づくりの会」から3名、当センター職員4名、合計18名が参加しました。

午前は、2班に分かれて「森の探検隊」をインストラクターから助言を受けながらポイントを回り、小学生が理解できない設問や新しく設問になるものはないかなど、教員目線で検証をしていただき、教員から「池にいたカエルやオタマジャクシが探検ポイントにならないか」等の多くの意見をいただきました。



また、午後からは葉っぱクイズなど校庭などでも気軽にできるネイチャーゲームを全員で体験した後、酷暑の中での一番の難関、「手鋸による間伐・玉切り」を体験。

「ネイチャーゲーム」では、「今までしたことなかったことや、次に活かせるゲームがたくさんあって楽しかった。」、また、「間伐体験」では、「過酷な暑さの中ですが、間伐をすることの必要性や大変さがよく分かった。また体験したい」などの感想をいただきました。

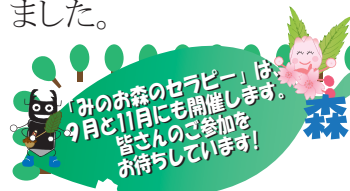
森林環境教育教員研修



7月30日(月)、箕面国有林勝尾寺園地において、教員の環境教育に対する理解を深め、子ども達への指導に資することを目的に、箕面市教育委員会との共催により森林環境教育を開催しました。研修には環境教育研修を選択した箕面市内の小学校の教員5名が参加しました。

京都教育大学の教育大学の山下宏文教授による、「森林環境教育の重要性と進め方」の講義では、「主体的・対話的で深い学び」として森林環境教育の有効性などについて講義をいただき、参加者からは「子ども達に教えていく中で、体験を取入れながら教えることが大切と知った。」などの感想をいただきました。

また、大阪森林インストラクター会(2名)によるネイチャーゲームでは、「葉っぱコレクションをして、自然にふれあうことの楽しさ、大切さを感じることができた。子ども達とやってみたい。」などの感想をいただきました。



森林ふれあい推進事業「みのお森のセラピー」 ～ 森の中で癒やしを体感！！ ～

6月3日(日)、朝から快晴の中15名の参加者を得て、第1回「みのお森のセラピー」を大阪府箕面市内の箕面国有林(勝尾寺園地周辺)で開催しました。このイベントは近畿中国森林管理局が「森林ふれあい推進事業」として実施団体を公募し、「NPO法人みのお山麓保全委員会」に応募していただき、協定を締結して両者の共催で開催しました。

大阪市内や箕面市内などからの参加者は、勝尾寺園地に到着した後、ストレスチェックや血圧測定を行った後、3班に分かれてセラピーアシストの案内により森の中の癒やしの空間に向かいました。

瞑想したり、クスノキやクロモジなどの匂いを嗅いだり、谷川の水に足をつけて冷たさを体感したり、最後はハンモックに揺られながら心地よい眠りに入っていました。約2時間の非日常的な時間を過ごす中で、心身ともに癒やされた身体を取り戻して行きました。

参加者からは、「森をゆっくり散策して、気分がリラックスできました。」、「初めてでしたが、森と一つになった気がしました。」、「心身ともに体の奥から疲れがとれてスッキリしました。」などの感想をいただきました。

この「みのお森のセラピー」は、9月30日(日)と11月4日(日)にも開催します。皆様のご参加をお待ちしています。



森林の中で瞑想☆



香りがいいね～



川の水が冷たいね



ハンモックでユラユラ♪



ストレスチェックしよう!



森林ふれあい